

関流行

九九四十年
九立十二年
六六十八
三三四年
七七四年
八八廿二

九九八
五九一
三三九
七七四
八八六
四四十六



因歌



九州帝國大學工科大学
805781
3
大正12年10月27日
數學物理學教室

理学部 和 遼及
022132002019517
九州大学 蔵書

物理學教室



閔流竹葉蘭字法

九九四十年
五十二年
一九二二年

六六十八

三三四年
七七四年

四四八年
八八廿二

九九八



六

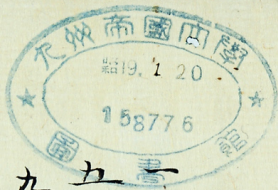
三三九
七七四十九

四四十六
八八十四

因歌



九州帝國大學理學部
7611
物理學教室



関流集開平法

平方九因歌

一一一	二二四	三三九	四四十六
五五廿五	六六卅六	七七四十九	八八六十四
九九八十一			

羊九々

一一一	二二二	三三四	四四八
五五十二	六六十八	七七十四	八八廿二
九九四十	羊		



大學工科大学
781
月 27 日
物理學教室

理学部 和 遼及
022132002019517
九州大学蔵書



物理學教室

積と算盤の中位より五行 実と次 位と次 位と次 位と次
 五行 一位より二位に十百千万位と隔て右(左)分厘毛
 朱又一位と隔て右(左)分厘毛の位より位と定
 初高と以て 殊実を一桁除 次高より
 世次高界平版と殊実より 減余又殊実と次
 初高初と法と以て 殊実を一桁除 三高と定
 世三高界平版と殊実より 減余
 進る如く殊実より 止
 初次三高相併て 定高と定
 乃高数併て定高と定
 高相併て定高と定

数解

一積二百二十五歩

方面何程と定

三言曰一十九百

例曰列表 ^{二二} 為実 約して 初高 ^廿

初高界平版と殊実より 減余 殊実より 減余 殊実より 減余

初高と以て 殊実を一桁除 次高より

世次高界平版と殊実より 減余 殊実より 減余 殊実より 減余

進る如く 殊実より 止

初次高五併て 定高と定

積三千一百三十六歩

方面何程と定

答曰 又十六百

一積二十三百〇四步

方面何程と官

答曰 四十八百

一積六千二百四十一歩

方面何程と官

答曰 七十九百

一積十二万九千六百〇歩

方面何程と官

答曰 三百六十百

一積四十二百二十又百

方面何程と官

答曰 六十二百

一積三十二万一千四百八十九百

方面何程と官

答曰 又六百七十百

術曰 列積 $\frac{1}{2}(1+2n)$ 有是物之初高階 初高
與階同を算す 城を全 $\frac{1}{2}(1+2n)$ 歩之 積算
とす

初高を以て 算と一階除て 次高を以て 此
高界を以て 積算す 城を全 $\frac{1}{2}(1+2n)$ 歩之 積算
初次高和を以て 積算と一階除て 積算
取三高を以て

此三高界を以て 積算す 城を全 $\frac{1}{2}(1+2n)$ 歩之 積算
進るは 積算す 城を全 $\frac{1}{2}(1+2n)$ 歩之 積算

初高と高 水保り 定高と高

乃高数件と高
水保り定高と高

一積十二万六千七百三十九歩

自方と同

差白三百五十九歩

一積三十三万又千二百四十四歩

自方と同

差白又百七十九歩

一積九十七万四千六百六十九歩

方面と同

差白九百八十七歩

一積四十九万七千二百二十二歩

方面と同

差白七百又百

一積四十五万六千四百八十九歩

方面と同

差白六百八十三歩

一積二百九十四万三千九百三十六歩 方面と同

差白三十四百又十六歩

例日列算 二百九十四万 三十九百三十六歩 為是 約一 初高群を以

初高界 初高と高より 減 作り 折歩之に取

百四十七万四千 六百六十六歩 残算と高

初高界と高 残算と高を一折除く 次高より

此次高界と高を残算より 減 作り 又残算と高

初高と高初を法と高より 残算と高を一折除く

は初高と高初と高と高より 減 作り

初次三四高五倍て定高之尺

乃高数倍を以て定高之尺

一積一千二百三十三万四千一百四十四百

方面七百

答曰三千六百七十二百

一積三千四百二十九万八千二百七十四百

方面七百

答曰五千八百六十八百

一積八百九十二万六千九百九十六百

方面七百

答曰二千九百八十六百

一積六千七百七十四万九千二百七十四百

方面七百

答曰八千二百二十一萬

一積九千七百二十三万二千七百七十六百

方面七百

答曰九千八百七十六百

一積九千七百二十三万二千七百七十六百

方面七百

答曰九万八千七百六十八百

初自列貴

許其後子孫

為美始て初商階

と云ふ

初高界

樹を美より

樹を余

許其後子孫を美より

初高を以て初商階

初高界を以て初商階

初美と云

初次高初を以て初商階

高之江

此之高界之江と孫室より 勘之室より又
孫室より

初次之高和之法より以て 孫室を一柳降
四高より

此四高界より後を孫室より 減余又孫室より
初次之高高和之法より以て 孫室を一柳降
現又高より

以て高界より後を孫室より 減余
進めぬ孫室より止

初次之高五高相併て 定高より 乃高和併て高より
降余併て高より

一積一億五千二百三十九万九千〇四十九百
方面より

差百二万二千三百四十百

一積一十四段一千二百九十三百二千九百二十一歩
方面より

差百三万七千五百八十九歩

一積二十六億六千九百四十八万七千六百一十六百
方面より

差百七万五千二百九十六百

一積三十。億六千二百七十四万。八百八十九百
方面を名

答曰又万六千三百三十三百

一積八十二億六千四百四十四万六千二百八十歩
方面を名

答曰九万。九百。九百

小教

一積一寸三分一厘三毫六糸
答曰一寸又六六厘
方面何れを名

一積一寸。三毫三糸四忽。八纖四沙
方面を名

答曰一寸。五厘七毫八糸

一積。間。九忽六微四所
方面を名

答曰。万。九毫八糸

一積。間。四纖五沙八畧
方面を名

答曰。間。六糸七忽八微

一積。間。四埃四
方面を名

答曰。万。二忽一微

円角平方 二條

一田積四百九十。十六分 二厘五毛

徑何程と問

答曰二尺又寸

術曰列斐

四百九十分
六厘三毛五

為實以田法除

除之得

七寸二分

平方小四寸

以爲徑五寸

一三角積九十七步四分二厘五毛

三角何程と問

答曰一十寸

術曰列斐

九十七步
四分二厘五

為實

以斐法

四分三厘

除之得

二寸二分

長平方之

以三角面

十五

帶 縱開平方各術二條

開子因旧法有垂行後出無其術繁多故常用此是例

積積 長平方差積 問長或平方者 積積を以て
四倍して以て敷子縱方界線を加へると 平方の面之
以て左右に割るとして 尺に縱方差を以て左右に縦方
差を減し各半にして 長右に平方を以て

教辭

積一百九十五步 七平方差二步 長平方を以て

答曰七十五步 平方十三步

術曰斐

一而九
十五歩

を以て

四倍して以て敷

七寸二分

差界

知を以て以て敷

七寸二分

平方の面之七平方

初歩を以て取らば副高してたゞ歩を以て
併右より左を城して計各半してたゞ七^{二十}
右より左計を以て

一積一万六千二百五十六石 七千石一石

七千石何程と云

答曰 七百十八石 平而二十七石

一積四千三百二十一石 七千石二十石

七千石何程と云

答曰 七百八十一石 平又十一石

一積七千三百二十石 七千石五十九石

七千石何程と云

答曰 七百二十石 平六十一石

一積六万二千三百石 七千石百十一石

七千石何程と云

答曰 七百一十一石 平二百石

一積十三万七千三百二十一石 七千石二千九百石

七千石何程と云

答曰 七千二百二十一石 平千石